



# こたけ

# 議会だより

第 209 号

平成27年5月1日

■発行 小竹町議会  
 福岡県鞍手郡小竹町  
 TEL 09496-2-1967  
 FAX 09496-2-1140  
 ■編集 議会広報編集委員会  
 ■印刷 マツオ印刷株式会社



(写真：上・左)  
 小竹西小学校入学式の様子  
 平成27年4月10日(金)



(写真：下)  
 小竹こども園入園式の様子  
 平成27年4月1日(水)

## もくじ

- ◆ 平成27年度当初予算 ..... 2
- ◆ 主な議案..... 2
- ◆ 平成26年度補正予算 ..... 4
- ◆ 一般質問..... 5
- ◆ 議会が同意した人事..... 8

### 3月定例会

(平成27年3月5日～平成27年3月19日 15日間)



# 3月定例会の主な議案

3月定例会は、3月5日から3月19日まで、会期15日間の日程で開かれました。条例案・予算案等の議案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

## 医療費の支給対象と内容

区分	小学校 就学前まで	小学校 3年生まで	小学校 6年生まで
外 来	無 料	800円/月	な し
入 院	無 料	500円/日 月1万円まで	500円/日 月1万円まで

「小竹町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例」が制定され、医療費の支給対象者が、これまで小学校就学前までの範囲から外来は小学校3年生まで、入院は小学校6年生までに拡大されました。この条例は、平成27年10月1日から施行されます。

乳幼児・子どもの  
医療費助成を拡充



ふれあい橋から見た河川公園

国土交通省の堤防工事に併せて、庁舎前から小竹駅周辺までの河川敷に河川公園が整備されたことに伴い、管理などに関する条例が制定されました。公園の名称は、「小竹町遠賀川河川公園」です。

河川公園条例を

制定

委員会名	調査事項	委員定数	委 員 名
小竹町庁舎建設特別委員会	庁舎建設に関する事項	6人以内	和田 明 原 準一 和田立美 吉野 慎一 吉野 欽也 峯岡 均
小竹町議員定数調査特別委員会	議員定数調査に関する事項	6人以内	水谷日出男 大安美佐代 秋吉俊英 宮野一男 谷川龍児 和田賢二郎

議会提案  
特別委員会を設置

# 平成27年度 当初予算

一般会計 ..... 52億2,686万円  
 特別会計 ..... 27億 883万円  
 総 額 ..... 79億3,569万円



一般会計予算  
前年度比8.2%増

特別会計予算  
前年度比3.8%増

前年度以上に厳しい財政運営が予想されますが、住民の福祉や健康、安全の保持、行政サービスの低下を招かぬよう、議会として慎重な審議を行ってまいります。

### 当初予算の主な事業

- 御徳2区浸水対策
- 中島・芦北幹線道路改良
- 御徳・穎田線道路改良
- 墓地周辺障害防止対策
- 北小学校大規模改造及び耐震補強
- 小学校空調設備設置
- 中学校大規模改造及び耐震補強



工事が待たれる中学校(左)と北小学校(右)

### 当初予算委員会の 主な質疑

**問** 飯塚市の雑野排水機場（なみの）の維持管理費の一部を本町が負担している。

**答** 蛇牟田川排水機場の維持管理費の応分の負担を飯塚市に求めるか、相殺すべきでは。

**問** 飯塚市と再度協議します。

**問** 体育協会への補助金と事業計画の内容は。

**答** 8団体で体育協会の運営をしています。

**問** 各団体で町民大会の開催や県・郡民体育大会への補助です。

**問** 七福団地建替えに伴うPFI業務委託料についてコンサルタントの今後の活用は。

**答** 現在、内部で協議しています。

**問** 宮若市外二町じん介処理施設組合の起債償還が29年度で終了するが、ごみ袋料金の値下げができないか。

**問** 非常勤特別職の費用弁償に格差があるが見直さな

**答** 宮若市、鞍手町の首長と協議しながら検討します。

**問** 道路補修の基準はあるのか。

**問** 女性の地位向上のための対策は。

**答** また、小竹団地前の道路の補修はしないのか。

**答** 女性の地位向上、男女共同参画社会を目指して、今後女性の管理職登用を行います。

**問** 明確な基準はないが、痛みの激しいところを優先的に補修しています。

**答** 職種の能力に応じた部分で差があり、検討します。

**問** 小竹団地前道路は、今後予算の中で対応します。

**問** 定住促進住宅の指定管理委託料の内容は。

**答** 定住促進住宅の管理運営、附属する設備等の維持管理及び家賃、駐車場使用料の徴収業務で、922万9千円を指定管理委託料として支払います。

**問** 非正規職員の働く職場環境の改善を。

**答** 臨時職員の職務は業務の範囲内で仕事を行い、一緒に仕事する仲間として同じ目線で楽しい職場づくりに努めていきます。

**問** 臨時職員の職務は業務の範囲内で仕事を行い、一緒に仕事する仲間として同じ目線で楽しい職場づくりに努めていきます。



### 補正予算委員会の 主な質疑

**問** 学校給食地産地消推進補助金及び学校給食助成金の交付内容は。

**答** 米飯給食に地元産米を使用するためです。

学校給食の助成は、毎月の給食費の助成として小学校200円、中学校500円を助成します。

**問** 総合教育支援委託料の内容は。

**答** 教育委員会事務局に配置する指導主事、各小学校に配置する特別支援員及び学習サポーターの委託料です。

**問** 地域消費喚起生活支援費の内容は。

**答** 商工会に委託して3割増しの商品券を発行するための補助です。

**問** 「移住促進事業費補助金」の内容は。

**答** 移住促進事業として、町内にアパートを建築した場合に補助金を交付します。

**問** 「魅力ある店舗整備促進事業費補助金」の内容は。

**答** 商業店舗を新築した場合などに補助金を交付します。

**問** 舞台芸術公演委託料の内容は。

**答** 長崎街道の歴史と文化を学ぶために、ミュージカル（講演会）を計画しています。

## 平成26年度補正予算

一般会計	△1,972万円
特別会計	△4,748万円
総額	△6,720万円

可決

### 町長の施政所信表明に 対する質疑

**問** 手話通訳養成研修事業として職員に手話研修を行い住民サービスの向上をしないか。

**答** 手話のできる職員の育成に努力します。



全職員の意識を高め、議会と住民に理解を求め、5年後の町の財政を示し、5年間、職員と住民が一緒になって決意を持って進めていきます。

**問** 移住定住促進の中の一環として、空き家対策をどうするのか。

**答** 当面、実態調査を行い、空き家対策の有効利用策を今後検討します。

**問** 生涯スポーツの関係で、常設のグラウンドゴルフ場を設置できないか。

**答** 全町的に生涯スポーツ、ニュースポーツの内容を含めて、スポーツ推進員の意見も伺いながら検討します。

**問** 巡回バスの運行時間帯と公民館等における生涯学習などの時間帯が合わない状況がある。

**答** 巡回バスの需要が増えて、2台で足りるのかなど、バス対策協議会で再度検討協議します。

**問** 聖域なく行政改革を断行する決意の具体策は。

**答** 今、第五次行政改革の検証をしています。

**問** 全町民に関わるマイナンバー社会保障番号制度の周知をしないのか。

**答** この制度については本町も当然、取り組みを進めています。

窓口での混乱を防ぐため、全町民に対して周知します。

**問** 新築等の店舗に対する助成事業について、愛菜の家、商工会、農業団体などと協議して本町の産業振興の観点から店舗等を整備できないか。

**答** 地産地消の推進、6次産業の支援、愛菜の家の問題、店舗拡大などを含めて今後、検討します。

**問** 平成29年度までに国保の財政運営が福岡県へ移行されるが、安定運営されるのか。

**答** 健全な国保財政の安定化を要望します。

# そこが知りたい 一般質問

## ●「生涯スポーツ」の普及・振興を

水谷 日出男 議員

年齢や性別を問わず誰にでも気軽にプレーできる「生涯スポーツ」には多くの種目がある。

グラウンドゴルフ、バウンドテニス、ラージボールソフトバレー、ダーツ、ペタンクなどである。

一般の競技スポーツに比べて、体にあまり負担をかけずに行えるものである。

本町は、「生涯スポーツ」の振興を積極的に行い、町民の健康維持、介護予防に努めるべきではないか。

### 須堯教育長

本町は、町内の保育所・幼稚園・各小学校においてニュースポーツを指導し、各自治会におけるニュースポーツ大会の支援を行っています。

また、成人教育の「ひまわり講座」で、体操を中心とした2つの講座を設けています。

高齢者の生涯スポーツは、今以上に各地域において普及活動が必要だと思えます。



▲グラウンドゴルフの様子

ので、高齢者が多く参加できるスポーツ振興に努めます。

## ●子どもの医療費助成制度の拡充を

宮野 一男 議員

今年10月から子どもの医療費の通院の助成を小学校3年生まで、入院の助成を小学校卒業まで拡大することになっているが、県は、来年度から小学校卒業まで拡大することを表明している。

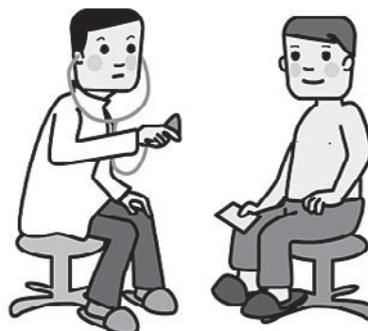
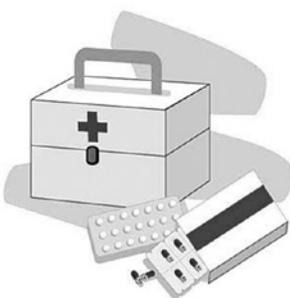
本町においては、さらに中学校まで医療費を無料にすべきでは。

### 松尾町長

子ども医療費助成制度の拡大は、本定例会で提案のとおり実施します。

これは、本町の人口増を図るための「移住定住すみやか計画」で民意を踏まえながら計画しています。

対象を中学校3年までに拡大することは、今後の財政状況を勘案し、県の動向を見ながら、検討します。



# そこが知りたい 一般質問

## ●小・中学校の適正規模・適正配置は

吉野 欽也 議員

文部科学省の手引書では、6学級以下の小学校、3学級以下の中学校、つまりクラス替えのできない学校は、統廃合の適否の検討を求めている。

① 小・中学校のあり方を専門的知見から検討する委員会を設置すべきでは。

② 1学年の学級数と1学級の児童・生徒数の適正規模は。

③ 小・中学校の統廃合や小・中一貫校の導入を、早急に取り組むべきでは。

④ 小規模校・少人数学級への取り組みは。

⑤ 児童・生徒の安全確保のため、福祉バス(巡回バス)の活用を検討しないか。

**松尾町長**

① 総合教育会議において、教育長及び教育委員会と協議を深め、保護者・地域の

方々、有識者の意見をいただく場を設けるよう、段階的に進めていきます。

③ 児童・生徒数の減少傾向を踏まえ、各種施策や地域コミュニティと学校との関係などの整合性を図りながら丁寧な議論を進めます。

⑤ 通学距離は国の基準以下です。最近の事故・犯罪事案等を踏まえ検討します。

**須養教育長**

② 小・中学校ともに12学級以上18学級以下が標準とされていますが、地域の実態等に応じ弾力的な運用がされています。

また小学校の児童数は1年生は35人・2年生以上は40人が上限です。しかし画一的な判断は難しい問題です。

④ 現在も実施している少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな学習指導をさらに継続します。

## ●小竹町史の編さんを

谷川 龍児 議員

小竹町史は、町制施行50周年記念事業の一環として、5年有余をかけて編さんされ、昭和60年3月に発行されている。

すでに30年が経過し、本町も大きく変貌しています。町制施行90周年を迎える年に、再度、町史を発行できるよう、早急に取り組まないか。

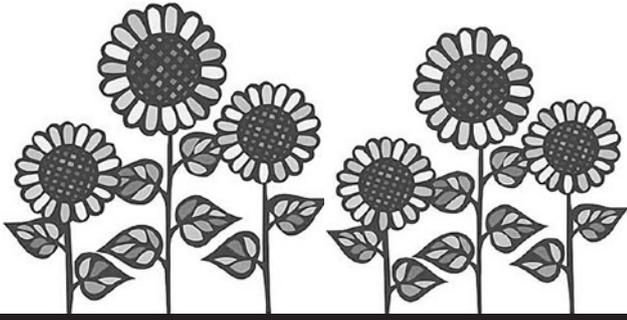
**松尾町長**

新たに町史を編さんする場合は、既存の町史を見直し、新しく明らかになった資料や研究成果を付け加え、必要な箇所は改定するため、基礎資料の収集と整理、編さんに関わる人材の確保が必要で

す。町制90周年を目前に編さん委員会などの新町史刊行に向けた母体の環境を整えます。

▼小竹町の歴史や文化が綴られた「小竹町史」





### ●行財政改革は

和田 立美 議員

本町の職員は、町立病院を含め、正規職員150人、非正規職員128人、総勢278人である。

職員の新規採用は当分中止し、臨時・委託職員も必要最小限の雇用にすべきではないか。

機構改革は、課の統廃合、年功序列での人事制度の廃止、個人の能力・実績及び信望の厚さを重視し、若い職員を大胆に抜擢する制度を作ってはどうか。

駅前には町営住宅を建設し、若者が住めるよう開発してはどうか。

町立病院の赤字経営を立て直すために、職員の意識改革を進め、経営の安定化を図り、自主再建するべきではないか。

また、診療所のある特別養護老人ホームに移行し、最終的には、売却も考えるべきではないか。

### 松尾町長

本町の財政は厳しい状況にあり、赤字再建団体に落ちるのを防ぐために、今までも職員、住民が一丸となつて乗り越えてきました。これからもなお一層努力してまいります。

町立病院については、繰出しが1億2500万円、そのうち地方交付税で措置されているのが1億円、単費として2500万円です。

今後の立て直しとしては、民営化ということも考慮しながら、できる限り現在の場所に医療機関を残したいという思いで頑張っています。

### ●認知症対策の取組は ●「介護マーク」の普及を ●「ロコモ」対策の普及・啓発への取組を

大安 美佐代 議員

### ①

「認知症サポーター養成講座」受講後の取り組みは、児童・生徒への「認知症サポーター養成」の取り組みを実施しないか。軽度の認知症の早期発見のための「頭の健康チェック」を行うことは。

### 松尾町長

① 本町では、5回の養成講座を実施し、現在121名が受講しています。これらの人たちの復習を兼ね、学習する機会を設け地域や職域に応じた取り組みを推進します。

② 外出時に介護が必要な人と安心して行動が出来るように「介護マーク」の普及を考えないか。

② 介護マーク作製に取組み、事業者や介護者へ促進のための周知を図っていきます。

③ 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」対策と普及・啓発への取り組みを考えないか。

③ 町民の健康維持のために、今後も普及啓発に取り組みます。



▲介護マーク  
介護する方が介護中であることを周囲に理解していただくためのマークで全国的に広まっている。

# 議会が同意した人事

## 副町長（再任）

高岸 和彦氏  
（小竹区2組）



生年月日 昭和29年11月19日  
住所 小竹町大字勝野三四九八番地一

## 教育委員会委員（新任）

飯野 裕子氏  
（南良津区2組）



生年月日 昭和30年12月20日  
住所 小竹町大字南良津一九四二番地

## 人権擁護委員（再任）

国房 稔代氏  
（中央区3組）



生年月日 昭和18年9月24日  
住所 小竹町大字勝野一三四二番地

## 町村議会表彰を受けました

小竹町議会は、地域の振興発展及び住民福祉の向上のために議会の活性化に努めた功績が認められ、平成27年2月6日に全国町村議会から町村議会表彰を受けました。



## 議会を傍聴してみませんか

議会の傍聴は、手続きが面倒と思われることはありません。傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名、年齢、性別を記入するだけです。

議会は、予算や条例をはじめ、行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

なお、定例会の開催予定日が近づきましたら、役場の掲示板、ホームページでお知らせします。

傍聴場所は、役場3階議場1階ロビー、町総合福祉センターでできます。

詳しくは、議会事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

電話 ②-11967

## 編集後記

町内の小中学校では入学式も終わり、新しいランドセルを背負った新一年生の姿が初々しく心が弾みます。三月定例会も無事閉会し、本年度予算が可決され、新年度がいよいよ始まります。また新たに小竹町庁舎建設特別委員会・小竹町議会議員定数調査特別委員会が設置され、町民の皆様の意見に添えるよう議会一丸となり取り組んでいきたいと思っております。

議会広報について、どうしたら、議会での議論をわかりやすくお伝えできるのか、今後とも、努力を重ねてまいります。

どうぞ、ご意見やご要望をお待ちしております。

（編集委員 秋吉俊英）



次回の定例会は、

6月4日（木）

開会予定です。

※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

